

▶ 5～12 ページはなか区版です

特集1 運河がつくるまちのにぎわい

中区の水辺空間の魅力



NAKA 9

広報よこはま なか区版

No.323/2024年

【問合せ】区役所まちづくり調整担当
☎224-8128 fax224-8214

1667年の吉田新田の整備とともに誕生した中区を流れる大岡川と中村川。かつては物資を運ぶ運河としての機能を果たしてきました。その役割も時代とともに変わり、現在では棧橋の整備が進められ、水辺空間の魅力を生かしたにぎわいづくりや憩いの場となっています。横浜の新たな魅力スポットに足を運んでみませんか。

よこはま運河チャレンジ

新港ふ頭さん橋、横浜日ノ出棧橋、石川町の棧橋などを水上交通でつなぎ、横浜港や河川、まちの歴史や文化などの魅力に触れられる運河ガイドクルーズや、食の市・音楽ライブなど、さまざまな取り組みが行われています。なかでも、プレジャーボート、SUP[※]、シーカヤックなどが連なって運河を行進する「運河パレード」は圧巻です。今年11月17日(日)に運河チャレンジの開催が予定されています。

※Stand Up Paddleboard(スタンドアップパドルボード)の略称。
ボードの上に立ち、パドルをこいで水面を進むアクティビティ



2023年運河パレードの様子



2023年音楽イベントの様子(横浜日ノ出棧橋)

横浜日ノ出棧橋

音楽などのにぎわいイベントだけでなく、災害時を想定した防災炊き出し訓練を毎年実施しています。訓練では、炊き出しのほか、消防団による放水訓練や物資輸送ルートとしての活用を想定した水上物資輸送などが実施されており、災害時にも運河が大きな役割を果たすことが期待されます。



水上物資輸送訓練の様子

大岡川桜棧橋

非動力船であるSUP、Eボート[※]、シーカヤックなどの乗降場所として利用されています。春には水上レジャーを体験しながら、桜を楽しむことができるお花見クルーズなどが行われています。

※10人乗り手こぎカヌー型ゴムボート



桜の時期の大岡川桜棧橋



水上レジャーを楽しむ様子



(仮称)石川町棧橋

令和7年度の利用開始を目指して、スロープなどを設置したバリアフリー棧橋の整備が進められています。



整備イメージ▶

棧橋や河川の利用を通じて地域の活性化に取り組んでいます!

大岡川 川の駅運営委員会 小林理事長に聞いてみました!



大岡川 川の駅運営委員会 理事長 小林 直樹さん

大岡川 川の駅運営委員会ではどんな取り組みを行っていますか?

神奈川県や横浜市と連携しながら、棧橋や川の利用調整や川面の清掃活動、棧橋を活用した防災訓練などを行っています。また、大岡川安全航行ガイドを作成し、誰もが安全に安心して川を利用できる環境づくりを進めています。

大岡川の魅力や今後の展望について教えてください

これまでの環境整備活動で水質が改善し、ハゼなどいろんな生物が戻ってきているので、ぜひ見てほしいです。子どもたちが生き物に触れられ

る観察会なども増やしていきたいですね。また、都心で水に触れられる特徴を生かして、通勤前に水上アクティビティを楽しむライフスタイルを広めたり、将来的には水上交通で川沿いのまちを結ぶ定期航路を実現したりしたいと思っていますので、中区ならではの新たな交通手段としてご期待いただければと思います。
私自身、日ノ出町で大岡川を見ながら育ちました。地域の魅力資源として、大人だけでなく子どもたちにも川のさまざまな活動に触れてもらい、子どもたちが大人になった時に自慢できる街にしたいと思っています。

中区役所

〒231-0021
横浜市中区日本大通35
☎224-8181 (代表)

開庁時間

●平日8時45分～17時
●第2・4土曜9時～12時(戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の窓口)

人口・世帯数

152,868人
88,891世帯
(2024年8月1日現在)



中区の情報

LINE
(旧Twitter)



編集・発行

中区役所広報相談係
☎224-8123
☎224-8214



今年(2024)は中区制97周年。「97」と中区のマスコット・スウィンギーをデザインしたロゴマークです▶